

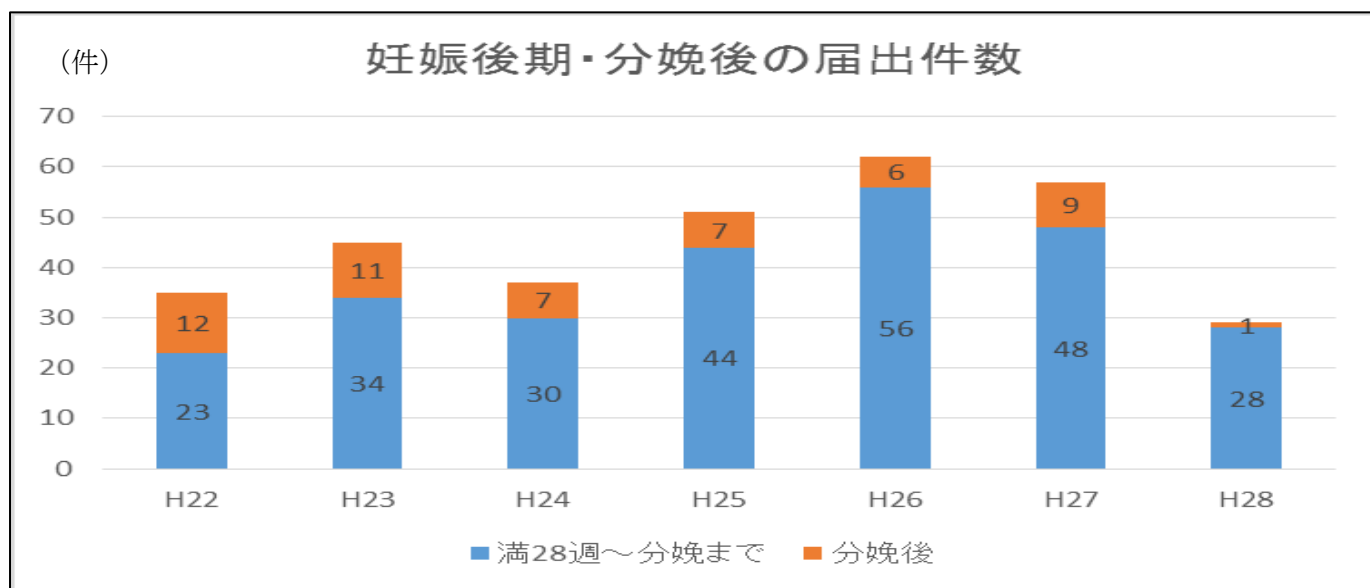
#### 4) 市町村母子保健事業実績（平成 28 年度）

## (1) 妊娠の届出数

妊娠届出数は平成 26 年度は増加したが、平成 28 年度は転入妊婦とあわせ 10,259 人で前年度と比較し増加した。平成 28 年度の妊娠届出時期（転入妊婦除く）をみると、満 11 週以内に届出は 95.0%、満 28 週から分娩までが 0.3%、分娩後が 0.01%あり、満 28 週以降の届出は減少した。妊娠 28 週以降の届出には、妊娠に気づかなかった（若年・精神疾患）や無保険状態で経済的不安があった。経済的理由と家族からの反対があり妊娠に気づいていたが言えなかったなどが理由としてあった。

年度	総数	満11週以内		満12週～19週		満20週～27週		満28週～分娩まで		分娩後		不詳	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
H22年度	11275	10408	92.3	666	5.9	69	0.6	23	0.2	12	0.1	97	0.9
H23年度	11323	10442	92.2	658	5.8	67	0.8	34	0.3	11	0.1	91	0.8
H24年度	10739	10143	94.5	459	4.3	78	0.7	30	0.3	7	0.1	22	0.2
H25年度	10356	9686	93.5	474	4.6	82	0.8	44	0.4	7	0.1	63	0.6
H26年度	10661	10559	94.4	397	3.7	98	0.9	56	0.5	6	0.1	45	0.4
H27年度	10080	9507	94.3	396	3.8	76	0.8	48	0.5	9	0.1	44	0.4
H28年度	9447	8971	95.0	335	3.5	55	0.6	28	0.3	1	0.01	57	0.6

\*平成 28 年度 転入妊婦 812 人 平成 28 年度 合計 10,259 (転入妊婦含む)



## (2) 妊娠届出時の保健師の面接状況

平成 25 年度より妊娠期からの要支援妊婦の把握、早期支援に向けて、保健師による面接、アセスメントの実施を進めている。平成 28 年度の保健師の面接実施率は 86.9%で前年度より 0.8%低下した。アセスメント実施率は 87.6%と前年度より 6.5%上昇した。

アセスメントで要支援妊婦となった割合は 16.7%であった。その内、特定妊婦となった割合は 1.9%であり、前年度より 0.3%減少した。

妊娠届出時の保健師による面接は、全ての市町村で実施されているが、妊婦の全てには面接実施ができていない。

アセスメントの実施は平成 28 年度妊娠届出があった 38 市町村のうち 1 村では妊娠届出時におけるアセスメントを実施していない。実施割合は 34 市町村では 100%実施されているが、50%以下の実施率の市町村が 2 市町あり市町村によりばらつきがあるが、アセスメントの実施率 100%の市町村は平成 27 年度と比較して 5 市町村増加した。

	妊娠届出数	保健師面接	面接実施数 (%)	アセスメント実施数	アセスメント実施率 (%)	アセスメントで支援が必要となった妊婦の数	アセスメントで要支援妊婦判定となった割合 (%)	(再掲)特定妊婦数	特定妊婦数割合 (%)
H25年度	10356	8726	84.3	7684	74.2	1332	17.3	-	-
H26年度	10661	9132	85.7	8251	77.4	1133	13.7	176	2.1
H27年度	10080	8843	87.7	8179	81.1	1296	15.8	185	2.2
H28年度	10259	8919	86.9	8992	87.6	1496	16.7	175	1.9

## (3) 支援が必要となった妊婦の支援状況

妊婦全体で「支援が必要となった妊婦」は 14 9 6 名 (14.6%)、「特定妊婦」は 175 名 (1.7%) に対しての支援状況は、妊娠中に家庭訪問実施した割合は 10.2% (特定妊婦 34.9%) であった。新生児訪問を実施した割合は 17.6% (特定妊婦 31.4%) であった。妊娠中の家庭訪問実施割合は平成 27 年度より増加したが、新生児訪問実施割合は平成 27 年度より減少した。アセスメントで支援が必要となった妊婦へどのような支援を実施し、支援後にどうなったかの把握が十分にできていない。

医療機関との連携については、情報提供書のやりとり延 19 8 件、カンファレンスの実施延 2 9 件、その他延 1 5 3 件であった。支援が必要な妊婦は平成 2 7 年度に比べ 200 人増加したが、情報提供書のやりとりは増加したが、カンファレンス・その他とも半数に減少した。

<平成 2 8 年度 支援状況>

	支援が必要となった妊婦の数(再掲)	特定妊婦数(再掲)	妊娠中の家庭訪問実施件数	実施率 (%)	(再掲)		新生児訪問 実件数	実施率 (%)	(再掲)		医療機関との連携		
					特定妊婦実人	実施率 (%)			特定妊婦実人	実施率 (%)	情報提供	カンファレンス	その他
総数	1384	151	125	9.0	47	31.1	223	16.1	43	28.5	177	29	118
11週以内	1206	104	92	7.6	27	26.0	186	15.4	26	25.0	138	19	79
12週～19週	106	26	20	18.9	11	42.3	23	21.7	10	38.5	24	3	14
20週～27週	40	8	4	10.0	3	37.5	4	10.0	1	12.5	7	3	3
28週～分娩	22	12	8	36.4	5	41.7	7	31.8	5	41.7	6	3	21
分娩後	1	0	-	-	-	-	1	100.0	0	0.0	2	1	0
不詳	9	1	1	11.1	1	100.0	2	22.2	1	100.0	0	0	1
転入妊婦	112	24	27	24.1	14	58.3	40	35.7	12	50.0	21	0	35

#### (4) 妊婦健康診査実施状況

妊婦健康診査受診実人員、延人員とも減少。平均すると1人あたり8.4回の受診。

	妊婦					
	一般健康診査				精密健康診査	
	受診 実人員	(再掲) 委託	受診 延人員	(再掲) 委託	受診 実人員	(再掲) 委託
H22年度						
H23年度	15981	15855	123905	123057	0	0
H24年度	15919	15706	127862	126679	0	0
H25年度	14975	14399	118598	113196	0	0
H26年度	15392	15296	121776	120792	0	0
H27年度	14571	14115	116043	111270	0	0
H28年度	13902	13769	116557	115348	0	0

#### (5) 未熟児養育医療申請状況

未熟児養育医療申請件数は433件。前年度より18件増加した。訪問実施率は82.9%。担当保健師が73%対応。雇い上げの看護師、助産師が26.7%。平成27年度と比較し、初回訪問では雇い上げの看護師、助産師による訪問が増加した。

	未熟児養育 医療申請件 数	訪問実施率	実人員				延人員					
			実施数	(再掲) 担当課職員 (保健師)に よるもの	(再掲) 担当課職員 (看護師、助 産師) によるもの	(再掲) 雇い上げの 保健師によ るもの	(再掲) 雇い上げの 看護師、助 産師による もの	実施数	(再掲) 担当課職員 (保健師)に よるもの	(再掲) 担当課職員 (看護師、助 産師) によるもの	(再掲) 雇い上げの 保健師によ るもの	(再掲) 雇い上げの 看護師、助 産師による もの
H26年度	377	84.6	319	280	1	0	38	426	376	8	0	37
H27年度	415	86.5	359	291	1	0	67	408	360	2	0	46
H28年度	433	82.9	359	262	1	0	96	449	335	1	0	113

## (6) 3～5ヶ月児健康診査状況

### ①受診状況及び受診結果

平成 28 年度 9 月再調査受診率は 98.0%。受診率は H27 年度 9 月調査に比べ 0.4%上昇した。異常なし 72.8%、既治療 5.3%、要観察 15.8%、要医療 2.6%、要精密 3.5%であった。

	対象者数	受診実人員	受診率(%)	異常なし		既医療(治療中含む)		要観察(要指導含む)		要医療		要精密	
				実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)
H22年度	10749	10437	97.1	7570	72.5	513	4.9	1847	17.7	214	2.1	293	2.8
H23年度	10479	10149	96.9	7188	70.8	443	4.4	2027	20.0	216	2.1	282	2.8
H24年度	10549	10261	97.3	7467	72.8	433	4.2	1891	18.4	224	2.2	246	2.4
H25年度	10399	10134	97.5	7245	71.5	449	4.4	1896	18.7	235	2.3	259	2.6
H25年度9月調査	10397	10137	97.5	7265	71.7	451	4.4	1918	18.9	243	2.4	260	2.6
H26年度	9762	9410	96.4	6832	72.6	400	4.3	1728	18.4	210	2.2	240	2.6
H26年度9月調査	9777	9475	96.9	7013	74.0	398	4.2	1604	16.9	216	2.3	244	2.6
H27年度	9939	9612	96.7	6979	72.6	460	4.8	1702	17.7	218	2.3	253	2.6
H27年度9月調査	9930	9688	97.6	6997	72.2	485	5.0	1738	17.9	204	2.1	264	2.7
H28年度	9616	9361	97.3	6847	73.1	502	5.4	1450	15.5	238	2.5	325	3.5
H28年度9月調査	9616	9423	98.0	6861	72.8	503	5.3	1485	15.8	243	2.6	332	3.5

<参考>全国 H27 年度 受診率 95.6%

### ②精密検査の受診状況及び精密検査結果

平成 28 年度 9 月再調査は精密検査受診率 93.7%。要精密検査受診者のうち要医療であった割合は 14.5%。

	精密検査対象者数	精密検査受診実人員	受診率(%)	要医療	要医療の割合(%)
H22年度	293	245	83.6	50	20.4
H23年度	282	247	87.6	46	18.6
H24年度	246	219	89.0	30	13.7
H25年度	259	208	80.3	47	22.6
H25年度9月調査	260	235	90.4	66	28.1
H26年度	240	173	72.1	33	19.1
H26年度9月調査	244	203	83.2	45	22.2
H27年度	253	172	68.0	21	12.2
H27年度9月調査	264	201	76.1	28	13.9
H28年度	325	240	73.8	36	15.0
H28年度9月調査	332	311	93.7	45	14.5

### ③健診未受診児の現認状況

現認率は、平成 27 年度 9 月調査と比較して、6.3%減少した。現認以外の電話・文書での対応も含めた対応実施率は 100%であった。

	未受診者数	現認児数	現認率(%)
H22年度	312	113	36.2
H23年度	330	298	90.3
H24年度	288	252	87.5
H25年度	265	218	82.3
H25年度9月調査	260	222	85.4
H26年度	352	223	63.4
H26年度9月調査	302	239	79.1
H27年度	327	192	58.7
H27年度9月調査	242	204	84.3
H28年度	255	122	47.8
H28年度9月調査	164	128	78.0

## (7) 1歳6か月児健康診査状況

### ①受診状況及び受診結果

平成28年度9月再調査受診率は96.1%。受診率は平成27年9月調査に比べ1.3%上昇した。異常なし74.7%、既治療3.1%、要観察18.0%、要医療0.7%、要精密3.4%であった。

	対象者数	受診実人員	受診率(%)	異常なし		既医療(治療中含む)		要観察(要指導含む)		要医療		要精密	
				実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)
H22年度	11024	10381	94.2	6921	66.7	238	2.3	2831	27.3	110	1.1	279	2.7
H23年度	10981	10205	92.9	6822	66.8	255	2.5	2707	26.5	77	0.8	344	3.4
H24年度	10939	10291	94.1	6710	65.2	217	2.1	2938	28.5	75	0.7	351	3.4
H25年度	10665	10034	94.1	6164	61.4	261	2.6	3194	31.8	46	0.5	361	3.6
H25年度9月調査	10693	10108	94.5	5911	58.5	330	3.3	3456	34.2	47	0.5	364	3.6
H26年度	10681	10021	93.8	6212	62.0	231	2.3	3208	32.0	37	0.4	333	3.3
H26年度9月調査	10620	10108	95.2	6454	63.9	222	2.2	3042	30.1	53	0.5	337	3.3
H27年度	9969	9363	93.9	6448	68.9	255	2.7	2305	24.6	42	0.4	313	3.3
H27年度9月調査	9987	9466	94.8	6520	68.9	245	2.6	2329	24.6	44	0.5	328	3.5
H28年度	10139	9702	95.7	7247	74.7	301	3.1	1750	18.0	73	0.8	331	3.4
H28年度9月調査	10142	9746	96.1	7276	74.7	303	3.1	1755	18.0	73	0.7	332	3.4

<参考>全国H27年度 受診率95.7%

### ②精密検査の受診状況及び精密検査結果

平成28年度9月再調査は精密検査受診率84.3%。平成27年度9月調査より0.2%低下した。要精密検査受診者のうち要医療であった割合は12.1%。

	精密検査対象者数	精密検査受診実人員	受診率(%)	要医療	要医療の割合(%)
H22年度	279	205	73.5	36	17.6
H23年度	344	272	79.1	32	11.8
H24年度	351	279	79.5	39	14.0
H25年度	361	280	77.6	24	8.6
H25年度9月調査	364	301	82.7	29	9.6
H26年度	333	248	74.5	37	14.9
H26年度9月調査	337	268	79.5	24	9.0
H27年度	313	248	79.2	36	14.5
H27年度9月調査	328	277	84.5	40	14.4
H28年度	331	271	81.9	32	11.8
H28年度9月調査	332	280	84.3	34	12.1

### ③健康診査未受診児の現認の状況

現認率は、平成27年度9月調査と比較して、2.5%低下した。現認以外の電話・文書での対応も含めた対応実施率は98.9%であった。確認とれずの4名のうち2名は海外在住、2名は平成29年度にはいつてから現認できている。(現認した児を含む2名は要保護児童対策地域協議会に連絡されている。)

	未受診者数	現認児数	現認率(%)
H22年度	643	111	17.3
H23年度	776	541	69.7
H24年度	648	483	74.5
H25年度	631	518	82.1
H25年度9月調査	585	501	85.6
H26年度	660	488	73.9
H26年度9月調査	569	470	82.6
H27年度	606	447	73.8
H27年度9月調査	521	429	82.3
H28年度	397	304	76.6
H28年度9月調査	357	285	79.8

## (8) 3歳児健康診査の状況

### ①受診状況及び受診結果

平成28年度9月再調査受診率は92.0%。受診率は平成27年9月調査に比べ1.6%上昇した。

異常なし65.7%、既治療3.4%、要観察15.1%、要医療1.2%、要精密14.6%であった。

	対象者数	受診実人員	受診率(%)	異常なし		既医療(治療中含む)		要観察(要指導含む)		要医療		要精密	
				実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)	実人数	率(%)
H22年度	11777	10449	88.7	6847	65.5	301	2.9	2150	20.6	71	0.7	1080	10.3
H23年度	11597	10100	87.1	6395	63.3	295	2.9	2234	22.1	74	0.7	1102	10.9
H24年度	11460	10246	89.4	6292	61.4	359	3.5	2367	23.1	75	0.7	1153	11.3
H25年度	11069	9904	89.5	5859	59.2	313	3.2	2413	24.4	97	1.0	1169	11.8
H25年度9月調査	11106	10000	90.0	5854	58.5	313	3.1	2541	25.4	103	1.0	1189	11.9
H26年度	11253	9948	88.4	6096	61.3	256	2.6	2173	21.8	86	0.9	1337	13.4
H26年度9月調査	11135	10088	90.6	5761	57.1	289	2.9	2595	25.7	95	0.9	1348	13.4
H27年度	10892	9669	88.8	6254	64.7	271	2.8	1698	17.6	121	1.3	1325	13.7
H27年度9月調査	10887	9839	90.4	6356	64.6	282	2.9	1720	17.5	122	1.2	1359	13.8
H28年度	10724	9659	90.1	6358	65.8	329	3.4	1451	15.0	117	1.2	1414	14.6
H28年度9月調査	10658	9803	92.0	6444	65.7	334	3.4	1479	15.1	119	1.2	1427	14.6

<参考>全国H27年度 受診率94.3%

### ②精密検査の受診状況及び精密検査結果

平成28年度9月再調査は精密検査受診率75.3%。平成27年度9月調査より1.3%上昇した。要精密検査受診者のうち要医療であった割合は13.8%。

	精密検査対象者数	精密検査受診実人員	受診率(%)	要医療	要医療の割合(%)
H22年度	1080	723	66.9	112	15.5
H23年度	1102	831	75.4	128	15.4
H24年度	1153	871	75.5	151	17.3
H25年度	1169	843	72.1	125	14.8
H25年度9月調査	1189	934	78.6	165	17.7
H26年度	1337	923	69.0	148	16.0
H26年度9月調査	1348	1024	76.0	170	16.6
H27年度	1325	861	65.0	159	18.5
H27年度9月調査	1359	1005	74.0	193	19.2
H28年度	1414	977	69.1	135	13.8
H28年度9月調査	1427	1074	75.3	148	13.8

### ③健康診査未受診児の現認の状況

現認率は、平成27年度9月調査と比較して、4.5%上昇した。現認以外の電話・文書での対応も含めた対応実施率は98.8%であった。確認とれずの10名のうち、海外在住5名、平成29年度に現認4名、転入前の市へ健診受診確認中1名であった。

	未受診者数	現認児数	現認率(%)
H22年度	1328	641	48.3
H23年度	1497	1131	75.6
H24年度	1214	956	78.7
H25年度	1165	1021	87.6
H25年度9月調査	1106	994	89.9
H26年度	1305	924	70.8
H26年度9月調査	1047	903	86.2
H27年度	1223	794	64.9
H27年度9月調査	1048	840	80.2
H28年度	1033	713	69.0
H28年度9月調査	817	692	84.7

④聴覚検査実施状況

平成 28 年度 9 月調査の聴覚検査受診率は 91.8%。受診率は平成 27 年度 9 月調査と比較して 0.7%上昇した。要精密検査は 162 人で 1.7%であった。

	対象人員	聴覚検査用紙配布数	質問票回収数	ささやき声検査受診実人員	受診率(%)	受診結果			
						異常なし	要観察(要指導含む)	要医療	要精密
H22年度	11787	11708	10521	10521	89.3	10382	55	7	77
H23年度	11597	11532	9983	9978	86.0	9745	116	17	97
H24年度	11426	11178	10228	10146	88.8	9944	78	15	114
H25年度	11069	11015	9964	9964	90.0	9782	68	14	100
H26年度	11253	10725	9917	10025	89.1	9746	105	17	157
H26年度9月調査	11135	9520	8749	9221	82.8	9020	62	9	130
H27年度	10911	10693	9731	9717	89.1	9483	87	15	132
H27年度9月調査	10917	10865	10055	9947	91.1	9697	101	14	135
H28年度	10724	10497	9788	9812	91.5	9530	111	11	160
H28年度9月調査	10659	10654	9783	9786	91.8	9509	105	11	162

⑤聴覚検査の精密検査状況

聴覚検査の精密検査受診率は、平成 28 年度 9 月調査で 59.9%。難聴ありは 4 名であった。

	要精密人数	精密検査受診実人員	受診率(%)	異常なし	要観察(要指導含む)	要医療	(再掲)聴覚障害(難聴)の有無・程度											
							難聴なし	難聴あり	(再掲)難聴の種類						(再掲)片側性難聴の種類			
									(再掲)両側性難聴の種類			片側性難聴	(再掲)片側性難聴の種類					
									感音難聴	伝音難聴	混合性難聴		感音難聴	伝音難聴	混合性難聴			
H22年度	77	41	53.2	32	11	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H23年度	97	59	60.8	31	20	8	6	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
H24年度	114	72	63.2	43	14	15	15	5	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0
H25年度	100	53	53.0	34	15	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H26年度	157	77	49.0	49	16	12	10	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
H26年度9月調査	130	72	55.4	44	15	13	9	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
H27年度	132	53	40.2	35	12	6	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
H27年度9月調査	135	64	47.4	42	12	10	4	6	1	0	1	0	0	2	3	0	0	1
H28年度	160	67	41.9	40	9	21	16	4	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0
H28年度9月調査	162	97	59.9	61	15	21	16	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0

	その他の耳鼻咽喉科領域の疾患・障害	(再掲)分類等					その他の疾患名
		言語発達の障害	耳疾患	(再掲)滲出性中耳炎	(再掲)その他		
H22年度	-	1	-	4	2	-	
H23年度	7	0	7	7	0	扁桃肥大・滲出性中耳炎1	
H24年度	10	0	11	11	1	耳管狭窄症・滲出性中耳炎1	
H25年度	4	0	4	4	0	0	
H26年度	10	1	9	8	3	2	
H26年度9月調査	8	1	7	6	4	0	
H27年度	6	0	6	6	1	0	
H27年度9月調査	7	1	5	6	1	0	
H28年度	14	1	10	12	1	0	
H28年度9月調査	14	1	12	15	1	副鼻腔炎	



## (9) 歯科保健の状況

### ① 1歳6ヶ月児の状況

受診率は、平成27年度より0.7%上昇した。有病率は、0.3%上昇し1.3%であった。

	対象児数	受診児数	受診率 (%)	むし菌のない児数			むし菌のある児数					有病率 (%)	むし菌の数		軟組織 の異常	咬合 異常	その他 の異常
				O1型	O2型	不詳1	A型	B型	C型	不詳2	計		総数	1人平均う 歯数			
H22年度	11028	9884	89.6	4960	4639	104	153	21	7	0	181	1.8	493	0.05	381	812	352
H23年度	10855	9549	88.0	4521	4798	77	124	24	4	1	153	1.6	482	0.05	303	665	437
H24年度	10864	9962	91.7	4852	4692	245	138	24	8	3	173	1.7	491	0.05	411	763	371
H25年度	10653	10066	94.5	5544	4353	14	120	17	3	15	155	1.5	382	0.04	328	666	387
H26年度	10697	10133	94.7	5036	4909	57	107	15	4	5	131	1.3	383	0.04	305	692	384
H27年度	9987	9489	95.0	4487	4754	130	94	17	7	0	118	1.2	333	0.04	278	616	304
H28年度	10164	9732	95.7	4585	4889	115	127	12	4	0	143	1.5	420	0.04	289	641	306

### ② 3歳児の状況

平成28年度の受診率は、前年度より0.5%上昇した。有病率は18.5%と1.4%減少した。

	対象児数	受診児数	受診率 (%)	むし菌の ない者	むし菌の型別分類							有病率 (%)	むし菌の数		
					O型	A	B	C		不詳3	計		総数	内処置歯	1人平均う 歯数
								C1	C2						
H22年度	11638	9794	84.2	7341	1584	748	17	104	0	2453	25.0	9222	1845	0.94	
H23年度	11539	9505	82.4	7231	1486	666	26	94	2	2274	23.9	8241	1755	0.87	
H24年度	11378	9633	84.7	7511	1423	585	18	93	3	2122	22.0	7480	1580	0.78	
H25年度	11046	9198	83.3	7376	1204	456	59	103	0	1822	19.8	6652	1209	0.72	
H26年度	11241	9400	83.6	7520	1237	471	71	95	6	1880	20.0	6647	1175	0.71	
H27年度	10790	9096	84.3	7279	1191	443	84	93	0	1811	19.9	6114	1187	0.67	
H28年度	10734	9100	84.8	7415	1148	439	21	77	0	1685	18.5	5858	1078	0.64	

	不正咬合のある児の数							口腔軟組織疾患			その他 の異常
	a	b	c	d	e	f	計	L 型	S 型	計	
H22年度	449	265	206	171	36	157	1284	143	1	144	476
H23年度	412	222	213	165	31	152	1195	120	9	129	501
H24年度	440	267	198	173	32	169	1279	128	8	136	464
H25年度	425	181	173	151	39	156	1125	140	1	141	432
H26年度	396	288	150	196	28	162	1220	156	1	157	481
H27年度	442	303	163	188	13	151	1260	162	2	164	451
H28年度	406	317	148	130	15	162	1178	108	13	121	534

<参考>全国有病率 平成24年度 19.07 平成25年度 17.91 平成26年度 17.0  
平成27年度 17.0